

## 英語科学習指導案

### 1 単元名 Program4 Sign Language, Not Just Gestures!

(SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

### 2 単元の目標

- (1) 「～している人」「～されているもの」などを表すための分詞の後置修飾の特徴やきまりに関する事項を理解する。 [知] 【知識及び技能】
- (2) 日本の文化について、分詞の後置修飾を用いるなどしながら、簡単な語句や文によって書く技能を身に付ける。 [技] 【知識及び技能】
- (3) 外国語指導助手の先生に日本の文化を紹介するために、日本特有のものについて事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 【思考力・判断力・表現力等】
- (4) 外国語指導助手の先生に日本の文化を紹介するために、日本特有のものについて事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとする。 【学びに向かう力、人間力等】

### 3 単元について

2021年8月に東京パラリンピックが開催され、人々に多くの勇気と感動を与えた。パラリンピックのテーマの一つが「共生社会の実現」であった。本単元は、ダニエルと真央がアメリカ手話(ASL)との出会いを通じて、世界中には異なる多くの手話が存在することを学習する場面で構成されており、「共生社会の実現」という点において重なる部分がある。手話は、障がいがある人だけでなく、多くの人にとって重要なコミュニケーション手段の一つであるという視点を大切にしたい。また、話題となっているASLについて理解するために、実際にASL表を使用して、手話によって伝え合うことの難しさと喜びを体験させたい。具体例として“Hello”や“My name is ~”などあいさつや簡単な表現を紹介する予定である。ASLに対する興味・関心を十分に高めた上で、デジタル教科書を活用しながら、本文の内容理解を促す活動を行っていききたい。

新出言語材料を導入する際には、過去分詞の後置修飾が用いられている具体的な場面についてScenesを用いて説明する。また、スライドショーやテキスト資料を使用しながら、(1)後置修飾は、名詞(句)を節や語句が後ろから詳しく説明するものであること、(2)現在分詞と過去分詞には、語形や意味に違いがあることの2点を重点的に指導していききたい。名詞(句)を別の語句が後ろから詳しく説明することについては、前置詞(句)の用法の理解で既に学習している。そのため、本単元では復習となるが、今後の関係代名詞の導入に向けて再度触れておきたい。

また、自分の考えを英語で表現していこうとする態度と能力を育成するために、自分の考えを伝えたり、伝え合ったりして、自分の英語表現を広げたり、深めたりしていけるようなペア・グル

ープ活動の機会を増やしたい。

本単元学習修了時の目標は、日本の文化を世界へ発信する力の定着である。そのために、自国の文化に対する知識を深め、英文で記述する練習を授業に取り入れていきたい。

本校英語科の研究主題は「意欲的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるための指導法の工夫 ～一人一人の基礎力の向上を目指して～」である。帯活動では短いフレーズを紹介し、短期記憶を行う活動や、定型文を繰り返し読み伝える活動を行なっている。間違えても笑い合えるフランクな雰囲気の中、比較的難易度の低い活動から段階を踏むことで、英語を苦手とする生徒もやってみようという意欲の向上がみられる。基礎力の向上を目指したスモールステップの段階を踏んだ授業作りを行なっていきたい。

#### 4 生徒の実態

#### 5 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>[知]「～している人」「～されているもの」などを表すための分詞の後置修飾の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技]日本の文化について、分詞の後置就職を用いるなどしながら、簡単な語句や文によって書く技能を身に付けている。</p>	<p>外国語指導助手の先生に日本の文化を紹介するために、日本特有のものについて事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。</p>	<p>外国語指導助手の先生に日本の文化を紹介するために、日本特有のものについて事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。</p>

#### 6 指導と評価の計画 (9 時間)

(L=Listening, R=Reading, Si=Speaking interaction, Sp=Speaking presentation, W=Writing)

時間	○ねらい ・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	<p>【扉/Scenes 1】</p> <p>○分詞を用いた文の構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。</li> <li>・分詞を用いた文の構造を知る。</li> <li>・Scenes での場面を通じて、分詞の使い方を理解する。</li> <li>・単語、連語等の意味や発音を確認する。</li> </ul>	アの [知]	<p>活動の観察</p> <p>後日ペーパーテスト</p> <p>ワークシート点検</p>
2 (本	<p>【Scenes 2】</p> <p>○後置修飾 (過去分詞) の用法を確認し、日本のものにつ</p>	アの [技]	<p>活動の観察</p> <p>後日ペーパーテスト</p>

時)	<p>いて紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後置修飾を用いた文の構造を知る。</li> <li>・ゲーム活動を通じて、後置修飾の使い方を理解する。</li> <li>・自国のもの（伝統や文化、歴史など）についての並び替え英作文に取り組む。</li> </ul>		ワークシート点検
3	<p>【Scenes 2】</p> <p>○後置修飾（現在分詞）の用法を確認し、日本のものについて紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後置修飾を用いた文の構造を知る。</li> <li>・ゲーム活動を通じて、後置修飾の使い方を理解する。</li> <li>・自国のもの（伝統や文化、歴史など）についての並び替え英作文に取り組む。</li> </ul>	アの [技]	<p>活動の観察</p> <p>後日ペーパーテスト</p> <p>ワークシート点検</p>
4～ 6	<p>【Think1~3】</p> <p>○ASL の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語・連語等の意味や発音を確認する。</li> <li>・音読練習する（リピート、バズ、ペアリーディング等）</li> </ul>	アの [知]	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート点検</p>
7	<p>【Retell】</p> <p>○本文のキーワードを用いて自分の言葉で、本文内容を表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習する（リピート、バズ、ペアリーディング等）</li> <li>・ワークシートに教科書本文の内容いずれかを選択し、4文程度でまとめて書く。</li> </ul>	アの [知]	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート点検</p>
8	<p>○日本の文化や歴史を調べ、メモを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD を視聴し、メモの取り方を学習する。</li> <li>・英文作成に役立つ表現を確認する。</li> </ul>	ウ	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート点検</p>
9	<p>○メモを参考に、日本の文化や歴史について英文が書ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたメモを基に、英文を1文5語以上、合計3文程度書くことができる。</li> <li>・外国語指導助手へ作品を発表できる。</li> </ul>	イ	<p>活動の観察</p> <p>ワークシート点検</p>

## 7 本時の指導（第2時）

### (1) 本時の目標

日本の文化について、分詞の後置修飾を用いるなどしながら、簡単な語句や文によって書く技能を身に付ける。[技] 【知識及び技能】

### (2) 展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
あいさつ (1分)	<p>○英語で挨拶を行う。</p> <p>T: Good morning.</p> <p>Ss: Good morning.</p> <p>○Today's Goal を発表する。</p> <p>T: Let me tell you about today's goal.</p> <div data-bbox="308 488 911 539" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">To understand how to use participles (part2)</div> <p>○Today's plan を発表する。</p> <p>T: Today's plan is…</p> <div data-bbox="308 629 866 824" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スラスラ英会話</li> <li>2. New grammar</li> <li>3. Game activity</li> <li>4. Writing activity</li> <li>5. Check new words for next lesson</li> </ol> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を学習する雰囲気を作る。</li> <li>・指示は基本的に英語で行う。</li> </ul>	
Warm-up (8分)	<p>○スラスラ英会話〈分詞を用いた表現編〉を行う。 (帯活動)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回違うペアで行う。</li> <li>・会話が進まないペアへ介入する。</li> </ul>	
復習・導入 (10分)	<p>○「分詞」について説明をする</p> <p>①パワーポイントを用いて説明を行う。</p> <p>②各例文を口頭練習する。そのあと生徒は設問(No1~5)に記入する。</p> <p>T: “built by Ashikaga Yoshimitsu” Repeat.</p> <p>S: “built by Ashikaga Yoshimitsu”</p> <p>T: 「足利義満によって建てられた寺」</p> <p>“A temple built by Ashikaga Yoshimitsu.” Repeat.</p> <p>S: “ A temple built by Ashikaga Yoshimitsu”</p> <p>T:OK. Now, Writing.</p> <p>S: 「足利義満によって建てられた寺」の下に “ A temple built by Ashikaga Yoshimitsu”を記入する。</p> <p>以下同様に No5 まで行わせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の理解度をそのつど確認する。</li> <li>・机間指導を行い、必要な生徒には支援を行う。</li> </ul>	
活動1 (15分)	<p>○該当文法事項を用いたゲーム活動</p> <p>①「ゲーム説明」スライドを提示する。</p> <p>T: “I'll divide you into six groups; 生活班.</p> <p>② グループ名を聞く。</p> <p>T: “Now, tell me your group name.”</p> <p>S: My group name is ~.</p> <p>6班全てに聞き、名前を黒板に板書する。</p> <p>③ゲーム開始。(約10分)</p> <p>T: “Now, team○, please choose a question.”</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全生徒が活動に参加していることを都度確認し、テンポよく行う。</li> <li>・ジャンル・点数を決めた時は班員全員で言うことを伝える。</li> </ul>	

	<p>S : I'll choose “文化の 80”  “What’s this? It’s a picture made in the Edo period.  the picture drawn by Katsushika Hokusai.”  S : It’s “富嶽三十六景”  T : Great! team○ got 80 points.  正解した班員がいる班に得点を加算する。  次のクイズ選択は正解した班のメンバーが決定する。  以後制限時間まで活動を行う。</p>		
活動3 (9分)	<p>○並び替え英作文を行わせる。  ①〈Step1〉生徒1名にスライドショーで提示したイラストを選択させる。  T : “Mr/Ms. ○○, Please select a picture.”  S : “I’ll select Chi-ba Kun.”  ②分詞の後置修飾を用いて、そのイラストを紹介した英文を口頭練習する。  T : “OK. Chi-ba Kun is very popular in Japan.この英文に、「千葉で生まれた」born in Chiba を加えると、Chi-ba Kun born in Chiba is very popular in Japan. となります。Repeat.”  S : “ Chi-ba Kun born in Chiba is very popular in Japan.”  T : “Good.  もう一名にイラスト選択をさせ、全体で①～②を口頭練習をさせる。  ③〈step2〉並び替え英作文プリントを配布し、取り組ませる。(約6分)</p>	<p>・この活動以前に発表していない生徒を指名する。   ・口頭練習の際は、全体で練習する。   机間指導を行い、各生徒の疑問点や不明な点を個別で説明する。</p>	アの [技]
活動3 (6分)	<p>○次回の単語を予習する  ①単語予習シートを配布する。  ②辞書を活用して新出単語の意味を調べ、訳をシートに記録させる。  ※時間内に調べきれなかった単語は宿題とする。</p>	<p>・辞書を忘れた生徒には教科書の付録を活用させる。</p>	
まとめ (1分)	<p>○まとめとあいさつ  ①文法内容の振り返りを行う。  ②宿題と次回の予定を簡潔に伝え、あいさつをして終了する。</p>	<p>・あいさつの声量と態度を確認する。  ・英文を記入したプリントを提出させる。  ・家庭学習の指示をする。</p>	

(3) 評価

日本の文化について、分詞の後置修飾を用いるなどしながら、簡単な語句や文によって書く技能を身に付けている。 [技]【知識・技能】

(1) 評価方法

ワークシートを回収して、記入された英文を評価する。

(2) 判断基準

【A】 = 後置修飾を活用する並び替え英作文 8 問を全問正解できる。

【B】 = 後置修飾を活用する並び替え英作文 3 ～ 7 問を正解できる。

【C】 = 後置修飾を活用する並び替え英作文 1 ～ 2 問を正解できる。

《参考文献》

『5 分間トレーニングで英語力がぐんぐんアップ！ 中学生のためのすらすら英会話 100 (授業をゲームと楽しくする英語教材シリーズ 24)』 瀧沢 広人 明治図書出版 2013 年

「ダイジェスト版 中 3 生の英語学習に関する調査 (2015-2018 継続調査)」 ベネッセ教育総合研究所